

平成 20 年度第 5 回理事会抄録

日時：平成 20 年 11 月 15 日（土） 13：00～18：07

場所：日本作業療法士協会事務所 10 階会議室

出席：杉原（会長）、中村、山根（副会長）、富岡、古川、長尾（監事）、岩瀬、太田、糊澤、小林（正）、鶴見、早川（常務理事）、大熊、大丸、片岡、小林（毅）、坂井、澤田、三澤（理事）、石塚（部長）、土井、西野、伊藤（貴）、近藤、大西（委員長）、大嶋（士会連絡協議会長代理）

I . 審議事項

- I . 1. 協会活動従事会員に対する傷害保険の導入について（大熊福利部担当理事）協会活動に従事する役員・部員・委員・会員に対する傷害保険は承認されたが、細部の補償内容と、その他の被保険者の範囲、補償内容については次回理事会で審議。→継続審議
2. 平成 20 年度作業療法推進活動パイロット事業助成制度助成事業について（大熊士会組織担当理事）9 件の応募があり、うち 2 件が事前に辞退。選考委員会における審査の結果、申請予算からの減額はあったものの残り 7 件すべて採択となったが、審査後さらに 1 件の辞退があったため、今年度助成事業は 6 件。→承認
3. 平成 21 年度課題研究助成制度助成研究について（澤田学術部担当理事）3 題の応募があったが、1 題を採択。→承認
4. 平成 21 年度主要目標（案）について（土井企画調整委員長）主要目標の説明に対し「表現方法が内向きである」「転換点に入る国際関係について文言として挙げるべき」等の意見が出されたが、大筋で承認。→承認
5. 名誉会員について
 - 1) 名誉会員に関する規程の改定（案）（西野規約委員長）名誉会員の推薦基準を明確にする作業に伴い、本規程及び表彰規程の整理・統合を提案。→承認
 - 2) 表彰規程の改定（案）（西野規約委員長）同上。→承認
 - 3) 名誉会員の推薦基準及び推薦・承認手続き（案）について（大西表彰委員長）基準と推薦・承認手続きの仕方を具体的に提案。→承認
6. WFOT 世界大会及び国際関連組織の整備（案）について（山根副会長）今年度中に WFOT 世界大会のための準備・推進プロジェクトを立ち上げ、来年度中に WFOT 代表者会議開催も含めた実行委員会を組織する。→承認
7. 第 45 回（2011 年）日本作業療法学会長及び開催士会候補の推薦について（近藤学会評議委員長）埼玉県立大学大橋秀行氏を学会長とし、埼玉県作業療法士会を開催士会とする立候補届けが出される。→承認
8. 要望書（案）について

1) 障害者自立支援法に基づく指定障害福祉サービスの事業等並びに指定障害者支援施設等における作業療法士の配置について（要望）（太田保健福祉部担当理事）生活介護の人員に関する要望内容を修正することで承認。→承認

2) 障害者計画・障害福祉計画の策定における作業療法士の活用について（要望）（太田保健福祉部担当理事）都道府県士会への周知を先行させることを確認した上で承認。→承認

9.認定作業療法士の認定について（荻原事務局長）更新申請者 23名のうち 22名、新規申請者 1名を認定。→承認

10.「作業療法士の日」の創設について（糊澤広報部担当理事）本協会の設立総会が行われた 9月 25日を「作業療法の日」とする提案。→承認

11.事務局職員の採用について（荻原事務局長）英語能力のある職員を募集した結果、1名の採用を決定。→承認

12.その他

1) 会員の退会について（荻原事務局長）11月 5日馬部高明氏が死亡のため退会。→承認

II.報告事項

1.学会監査及び協会会計中間監査について（富岡監事）適正に収支状況が表示されている。学会については経費節約の労が大であった。

2.日韓作業療法士協会の協定書調印と今後の対応について（小林国際部担当理事）11月 1日韓国学会開会式において調印された。

3.定款施行規則の改定（会員個人情報に関する注意書き）について（荻原事務局長）9月理事会で注意書きを入れることで承認された入会申込書と退会届が出来上がる。

4.平成 21年度役員選挙の日程について（伊藤選挙管理委員長）平成 20年 11月から平成 21年 7月までの役員改選に関するスケジュールの報告。

5.公益法人制度改定への対応と今後のスケジュールについて（荻原事務局長）平成 21年度総会、準備委員会での検討を経て、平成 22年中に初回申請を行う想定での準備スケジュール案を報告。

6.介護報酬改定情報（通所リハ・訪問リハ）について（太田保健福祉部担当理事）社会保障審議会の分科会での資料のまとめ。

7.全国老人保健施設協会との共同要望事項について（太田保健福祉部担当理事）リハビリテーションを強化していく方向性を強く打ち出した内容となっている。今後も力を入れていく。

8.訪問リハビリテーションステーション創設に関するその後の動向について（中村副会長）次回改定時に持ち越される可能性もあるが、3団体としては11月の管理者研修会の実施等を進めていく。

9.平成 20年度老人保健事業推進費等補助金の交付について（太田

保健福祉部担当理事) 厚労省の老人保健事業推進費等補助金申請が認められ、交付される。

10.「作業療法5・5計画」のロゴマークについて(荻原事務局長) ロゴマークが決定した。今後各媒体につけて活用していく。

11. 渉外活動報告 書面報告

12. その他

1) 「OTフルガード制度」(東京海上日動火災保険) 保険料振替不能のトラブルについて(大熊福利部担当理事) 口頭で嚴重注意とした。

2) 日本公衆衛生学会での発表について(中村副会長) 地域保健推進事業の活動結果を3演題、発表した。

3) (早川理事) 国際福祉機器展での相談コーナー対応結果。

4) (棚澤広報部担当理事) ニュース編集業務委託業者を変更する。

5) (大熊士会担当理事) 都道府県士会連絡協議会役員会出席報告。

以上